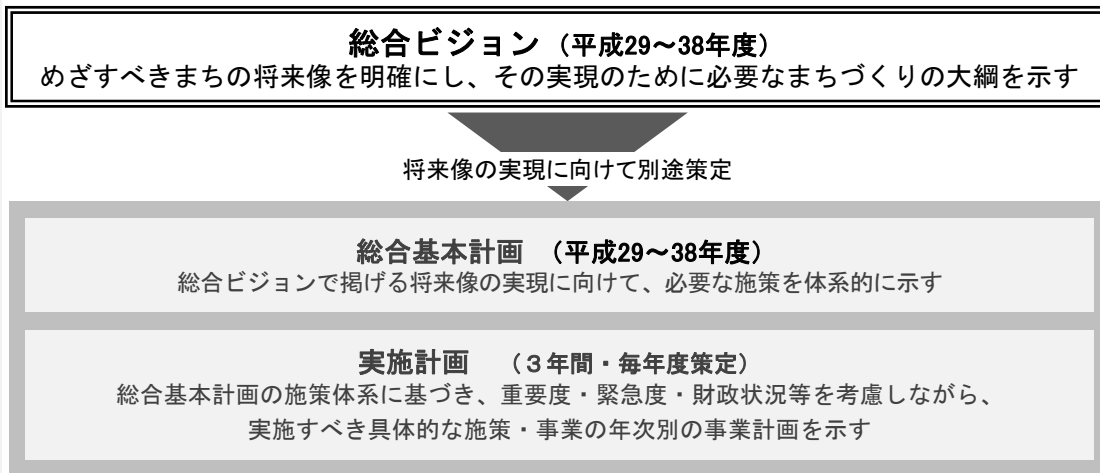




1. 策定の趣旨と構成

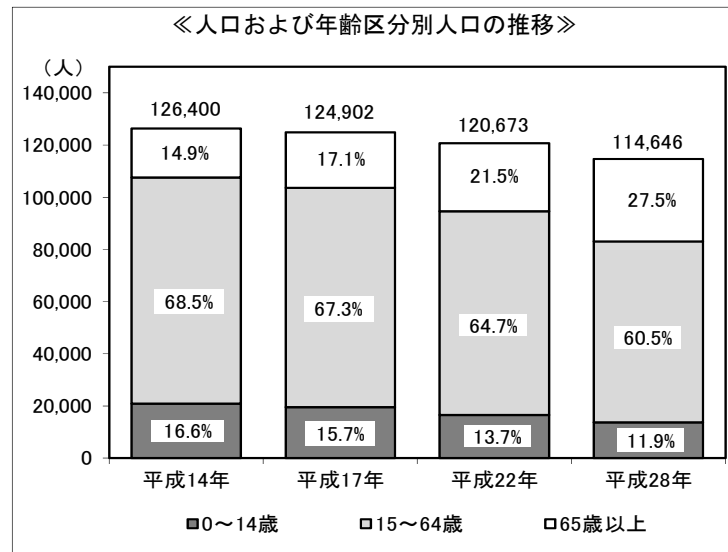
本市では、平成19年度から第4次富田林市総合計画に基づき、まちづくりを進めてきました。

このたび、第4次富田林市総合計画に基づく取組みを継承しつつ、人口減少や少子高齢化のさらなる進行に伴う新たな行政課題への対応も含め、平成29年度からの10年間の市政運営を総合的・計画的に行う指針として、「富田林市総合ビジョン」を策定します。



2. 策定の背景

(1) 人口の動向



本市の人口は、一人の女性が生涯何人の子どもを産むのかを表す、合計特殊出生率の低迷や若い世代の転出超過を背景に、平成14年以降減少を続けており、平成28年では11万4,646人と、ピーク時から1万人以上減少し、少子高齢化も進行しています。

(2) まちづくりの課題

社会潮流や本市の現況等を踏まえ、今後のまちづくりに向けた主な課題は以下のとおりです。

- 人口減少と少子高齢化への対応
- 主体的な市民参加・協働によるまちづくり
- 子育て・定住の場としてのまちづくり
- 自ら学び、活かせる人の育成
- 健やかな暮らしを地域で支え合うネットワークの構築
- 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 人と自然にやさしい都市空間の形成
- まちのにぎわいと雇用を支える経済基盤の強化
- 都市魅力の創生と効果的な情報発信
- 適正な行財政運営

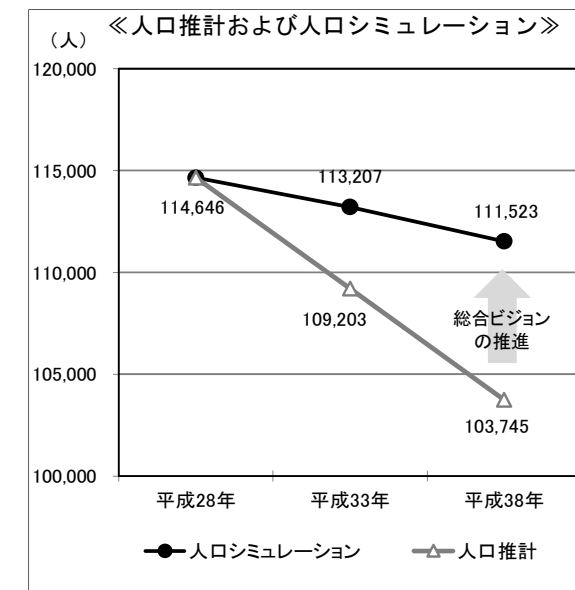
3. 富田林市の将来像

(1) めざすべきまちの将来像

これからのまちづくりを進めていくうえで、めざすべきまちの将来像を次のように設定します。

ひとがきらめく！
自然がきらめく！ 歴史がきらめく！
みんなでつくる
笑顔あふれるまち 富田林

(2) 将来人口の見通し

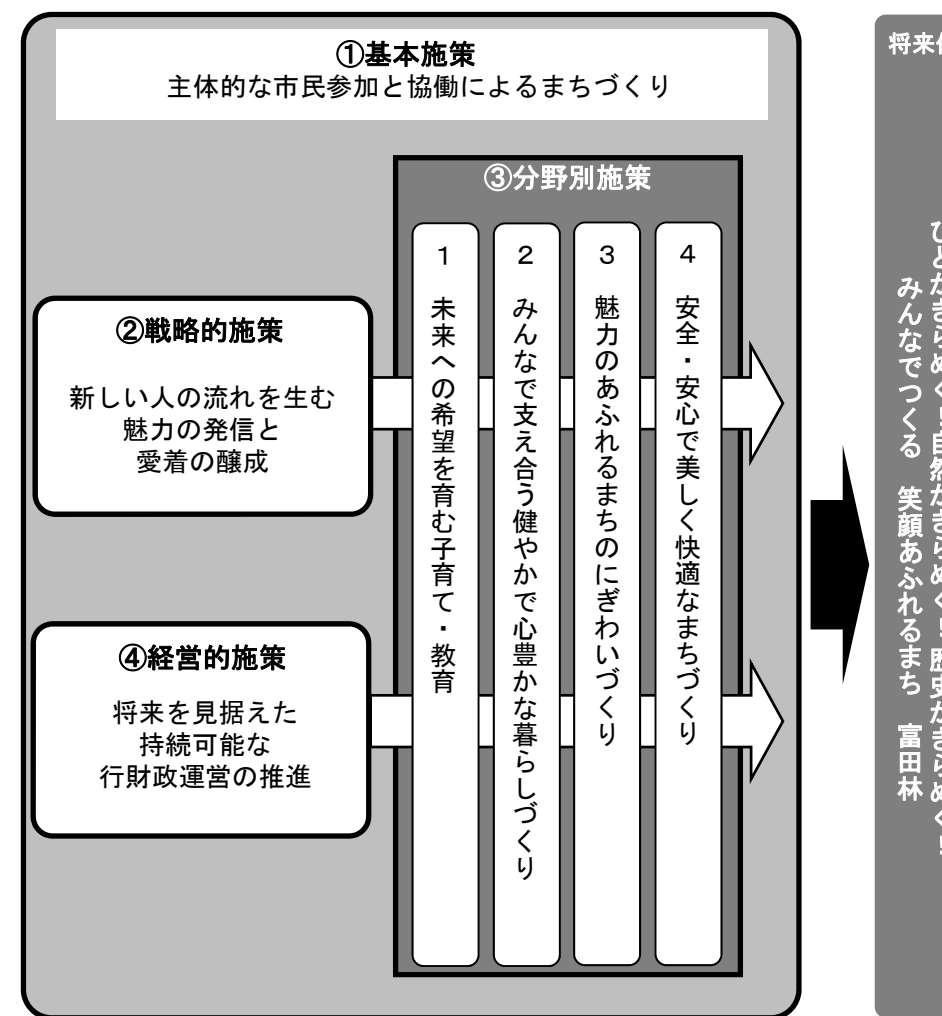


人口推計結果では、平成38年には10万3,745人と、現状から約1万人の減少が見込まれています。

また、人口推計結果を基に、合計特殊出生率の改善と社会減の抑止を仮定した人口シミュレーション結果では、平成38年に11万1,523人の人口規模が維持可能と見込まれていますが、いずれにしても将来的には人口が減少する見通しとなっています。

4. まちづくりの大綱

めざすべきまちの将来像の実現に向けて、基本施策、戦略的施策、4つの分野別施策、経営的施策からなるまちづくりの大綱を次のように設定します。



①基本施策

主体的な市民参加と協働によるまちづくり

まちづくりのあらゆる分野において主体的な市民参加と協働を基本とした取組みを推進します。

②戦略的施策

新しい人の流れを生む魅力の発信と愛着の醸成

定住の地、訪れる地としての本市の魅力の発掘と磨き上げを行い、市内外に向けて効果的に発信する取組みを、分野横断的に推進します。

③分野別施策

1. 未来への希望を育む子育て・教育

親と子を支える子育て環境づくり、未来の担い手を育む教育、学び続けるための環境づくりに向けた取組みを推進します。

2. みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり

健やかに暮らすための健康づくり・医療、支え合いを育む福祉コミュニティづくり、多様性の尊重による共生社会の形成に向けた取組みを推進します。

3. 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり

産業活性化によるにぎわいの創出、多くの人が訪れるにぎわいの創出に向けた取組みを推進します。

4. 安全・安心で美しく快適なまちづくり

安全・安心な暮らしの確保、快適に暮らせる環境づくり、環境にやさしく美しい地域づくりに向けた取組みを推進します。

④経営的施策

将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進

市民サービスの利便性向上や行政事務の効率化、職員の人材育成、公共施設等の計画的な管理、都市間連携等、持続可能な行財政運営に向けた取組みを推進します。